



大事な3つの初動対応

●火災発生時には、以下の行動を実施しましょう。

消火

- 火災発生場所を確認後、**消火器**を使用し、**初期消火**を行いましょう。
- 消火器で消火できない場合は、**屋内消火栓設備**を使用しましょう。

通報

- **119番通報**をしましょう。
 - ※ 職場の住所を伝えましょう。
 - ※ 火元、けが人などの情報も伝えましょう。

避難誘導

- 火元の**部屋のドア**や**防火扉**を閉めましょう。
- **放送**などで建物内に**火災の発生**を知らせ、**避難誘導**をしましょう。
- 在館者がいる場合は、**火元から遠い避難口**へ**誘導**しましょう。

※ 自動火災報知設備のベルが鳴ったら、受信機で現場を確認し、火災の有無を確認しましょう。

教育・訓練の実施

🔔 **消火器**や**屋内消火栓設備**の**位置**や**使い方**は分かりますか？

🔔 **119番通報**の**手順**は分かりますか？

🔔 **避難経路**と**誘導方法**は分かりますか？



火災発生時の初動対応の備え、職員に対する**防火教育**や**自衛消防活動の担当者**に対する**訓練**を定期的に行いましょう。

特に、**夜間・休日**を想定した**少人数での対応**などさまざまなシチュエーションを想定した実践的な訓練をしましょう。

消火器の使用方法

●いざという時のために、**消火器**の**操作手順**を確認しましょう。

消火器の操作手順



黄色いピンを上引き抜く
※運搬中にピンを引き抜くことは避けましょう。



ノズルを火元に向ける。



レバーをにぎるとノズルから消火剤が放出されます。



注意

火災発生時、すぐに初期消火できるよう、消火器の使用方法を確認しましょう。炎が天井に達している場合は、初期消火をあきらめて、直ちに避難してください。



【消火器の取扱い説明動画】